

# ワンタッチコールシステムの主な特徴

- 受信するとブザーとバイブ（10秒固定）でお知らせします。
- ブザーのみバイブのみの切り替え可能。停止ボタン装備。
- 受信範囲は約150m**をカバー（中継機で簡単エリア拡大）
- 受信機は**最大100個**まで使用可能（送信機を増設して使用）
- 受信に気付かなかった場合の**再呼び出し機能付き**
- 操作は呼びたい**番号キーを押すだけ**の簡単操作、LEDで確認できます。

# 「無線コールシステム」が医療や介護の現場で活躍しています。

導入コスト・ランニングコスト削減に  
かなりの効果を発揮します



**Q 1** ワンタッチコールを導入されたきっかけについて教えてください。

**A 1** 患者様を院内でお待ちいただく際にPHSの検討をしていました。見積りをとったところ数百万～数千万の見積りが出てきたので躊躇していました。そんな中、商業施設のフードコートで見つけた「ワンタッチコール」を見て、これで代用できないか・・・と思い問い合わせたのがキッカケです。

**Q 2** PHSシステム導入よりワンタッチコールの方が安かったですか？

**A 2** ええ、具体的な数字は言えませんが3割、4割程度のコストダウンではありません。かなり費用的なメリットはありました。しかも簡易的なシステムなのでレイアウト変更も容易です。今までのシステムですと大幅な変更が発生した際には都度多額の費用が発生してしまいますので助かっています。

**Q 3** 実際に商談した際に、何か懸念事項はありませんでしたか？

**A 3** 広い病院（84m×63m、5292㎡×2フロア）なので電波が届くのか心配しました。でも、メーカーさんの独自の創意工夫で動作することがわかったので、安心して稟議をあげました。

**Q 4** 他に懸念事項はありませんでしたか？

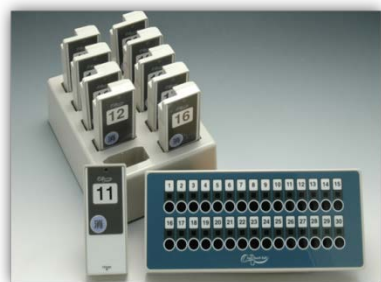
**A 4** 電波の干渉です。他の設備の誤動作やペースメーカーへの影響です。ただ、この懸念事項もメーカーさんが丸一日かけて、電波テストを実施し最適な設置位置や運用の提案をしてくれたので安心することが出来ました。ペースメーカーに関しては総務省の資料を基に説明してもらい納得して導入にのぞめました。

**Q 5** PHSの代用品としての利用以外の場面はありますか？

**A 5** 系列の診療所になりますが、感染予防の評価があります。小児科では待合を外のマイカーで待ってもらう事により院内感染の防止を行っています。電話での呼出を行わないので通話料のコストダウンにも繋がりました。

**Q 6** 他には何かご評価はありますか？

**A 6** 端末がバイブ、音、表示での呼出なので視覚障害の患者様へのサービスにもなると思います。動物病院での待合でも顔合わせを回避出来トラブル防止に繋がるんじゃないでしょうか？



ご協力ありがとうございました。